

静岡県月例経済報告

(令和3年4月号)

……令和3年2月を中心とした県内経済のすがた……

No. 540

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	5
・ 需要面	5
・ 生産面	13
・ 雇用面	15
・ その他	18
III 静岡県主要産業の動向	22
IV データからみた県内主要産業	25

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔本稿は、令和3年2月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。〕

概況

令和3年2月を中心とした静岡県の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きが見られる。

先行きについては、経済活動の再開が進むにつれて、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、新型コロナウイルス感染症による下振れリスクに、十分注意する必要があるほか、生産活動における部品供給停滞の影響にも留意する必要がある。

雇用情勢は、全体として厳しい状況にある。

- ・個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・設備投資は、下げ止まりつつある。
- ・輸出は、増加している。

需要面

「個人消費は、緩やかに持ち直している」

大型小売店販売額（2月）は、百貨店及びスーパーがいずれも前年実績を下回ったため、総額でも4か月連続で前年実績を下回った。

専門量販店等販売額（2月）は、家電大型専門店が前年実績を上回ったものの、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ホームセンターが前年実績を下回ったため、総額でも5か月ぶりに前年実績を下回った。

自動車（新車）新規登録台数（2月）は、乗用車が前年実績を下回ったものの、軽自動車は前年実績を上回ったため、総数でも5か月連続で前年実績を上回った。

「住宅建設は、前年を上回った」

新設住宅着工戸数（2月）は、持家、貸家、分譲住宅が前年実績を上回ったため、全体でも3か月ぶりに前年実績を上回った。

「公共投資は、前年を下回った」

公共工事請負金額（2月）は、2か月連続で前年実績を下回った。

「設備投資は、下げ止まりつつある」

日銀短観（12月調査）の令和2年度の設備投資（含む土地投資）（計画）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも減少する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）（計画）は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業でも減少する計画となっている。

着工建築物床面積（非居住用）（2月）は、2か月連続で前年実績を上回った。

「輸出は、増加している」

「輸入は、前年を上回った」

輸出総額（2月）は、エアコンが5か月ぶり、自動車の部分品が2か月連続、二輪自動車類が14か月連続、科学光学機器が6か月ぶりに前年実績を下回ったものの、原動機及び自動車が2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総額でも6か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額（2月）は、木材が8か月連続、パルプが2か月連続、紙類及び同製品が3か月連続で前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品、自動車の部分品が2か月連続、原動機が2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総額でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、1,142億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、持ち直しつつある」

鉱工業生産指数（2月）は、はん用・生産用・業務用機械が16か月ぶり、電気機械が6か月連続で前年水準を上回ったものの、輸送機械が2か月連続、化学が13か月連続、パルプ・紙・紙加工品が19か月連続、食料品・たばこが6か月連続で前年水準を下回ったことから、総合でも21か月連続で前年水準を下回った。また、前月比は3か月連続で下降した。

なお、鉱工業在庫指数（2月）は、総合では7か月連続で前年水準を下回った。

雇用面

「雇用情勢は、全体として厳しい状況にある」

有効求人倍率（2月）は1.00倍で、前月を0.02ポイント上回った。また、18か月連続で全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員（2月）は、18か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数（12月）は、23か月連続で前年実績を下回った。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年と同水準、信用保証金額は前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高（2月）は、前年同月比 0.0%増と前年と同水準だった。

信用保証協会保証金額（2月）は、前年同月比 500.4%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数は前年と同水準、負債総額は前年を上回った」

企業倒産（3月）は、件数は18件（前年同月比 0.0%増）、負債総額は28億4,400万円（同25.2%増）と、いずれも前年実績を上回った。

<トピックス>

企業の皆様、働く皆様へ 4月に新たに募集期間を公表した 新型コロナウイルス感染症関連支援策

新たなビジネスモデルへの挑戦やデジタル化などに取り組みたい。

事業名 中小企業デジタル化・業態転換等促進事業
募集期間 令和3年5月12日～5月26日
お申し込み先 商工振興課 TEL:054-221-2512

JA静岡経済連の通販サイト(EC)を活用して販路拡大に取り組みたい。

事業名 農水産物販売促進対策事業
募集期間 令和3年4月26日～1月31日
お申し込み先 農業戦略課 TEL:054-221-2633

県内外の就農希望者を呼び込むため、中古農業用施設を活用したい。

事業名 新規就農者受入促進支援事業
募集期間 令和3年4月16日～5月25日
お申し込み先 農業ビジネス課 TEL:054-221-2733

県内外のシニア世代の就農希望者を呼び込みたい。

事業名 シニア世代雇用就農支援事業
募集期間 令和3年4月1日～5月28日
お申し込み先 農業ビジネス課 TEL:054-221-2733

自動化・省力化技術を活用した農業生産に挑戦したい。

事業名 次世代施設園芸デジタル化支援事業
募集期間 令和3年4月5日～4月30日
お申し込み先 農芸振興課 TEL:054-221-3299

県産水産物の販路拡大に向け、新しい生活様式に対応したイベントを開催したい。

事業名 新しい生活様式に対応した県産水産物販売促進イベント開催事業
募集期間 令和3年4月30日～12月28日
お申し込み先 水産振興課 TEL:054-221-2694

水産業でネット通販やスーパー向け販路開拓等の新事業を展開したい。

事業名 水産イノベーション対策支援推進事業
募集期間 令和3年4月30日～5月31日
お申し込み先 水産振興課 TEL:054-221-2744

新しい生活様式に対応するため、住宅のリフォーム等に取り組みたい。

事業名 ふじのくにライフスタイル創出住宅リフォーム事業
募集期間 令和3年5月10日～9月30日
お申し込み先 住まいづくり課 TEL:054-221-3080

上記支援策の詳細や、その他募集中の新型コロナウイルス感染症関連支援策については、経済産業部ホームページに掲載しております。

検索

[静岡県新型コロナウイルス感染症関連支援策パンフレット](#)

または



<トピックス> 業種別の経済・雇用情勢

① 県制度融資の利用状況

(R3年3月26日時点)

区分	融資枠	申込状況		
		金額	件数	業種別の状況
新型コロナウイルス感染症対応枠(旧)【R2.2.12~4.17終了】	億円 2,034	億円 2,334	件 8,158	卸小売業23.5%、製造業22.0%、建設業17.1%、飲食業12.8%、宿泊・旅行業3.5%等
新型コロナウイルス感染症対応枠(新)【R2.4.28~】	億円 1,000	億円 445	件 1,260	製造業22.4%、卸小売業19.5%、建設業19.0%、飲食業5.6%、宿泊・旅行業2.9%等
国連携新型コロナウイルス感染症対応貸付【R2.5.1~R3.3.31】	億円 11,500	億円 7,802	件 52,008	建設業25.9%、卸小売業19.8%、製造業19.6%、飲食業7.9%、宿泊・旅行業1.3%等
計	億円 14,534	億円 10,581	件 61,426	リーマンショック時：保証料承諾額 1,749億円 (H20.9~H21.8：1年間) 東日本大震災時：保証料承諾額 553億円 (H23.4~H24.3：1年間)

② 県内の新規求人(季節調整値)の推移

業種別新規求人(一般+パート)前年同月比の推移

(%)

区分	R2年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年 1月	2月
農・林・漁・鉱業	▲23.2	5.1	▲5.6	3.1	▲11.0	8.1	21.7	15.2	19.0	▲26.8	▲5.1	▲18.9
建設業	▲11.8	▲11.7	▲1.8	▲4.6	▲2.7	▲7.2	▲3.0	6.8	▲1.1	6.9	17.6	15.9
製造業	▲33.5	▲39.2	▲44.2	▲43.9	▲48.3	▲45.2	▲30.5	▲31.3	▲19.8	▲21.7	▲10.2	1.2
卸売・小売業	▲19.3	▲19.0	▲34.3	▲31.5	▲37.1	▲36.3	▲28.3	▲28.7	▲29.2	▲18.7	▲6.1	▲17.9
金融・保険、不動産業	▲28.0	▲18.8	▲31.8	▲24.0	▲28.7	▲32.7	▲9.8	▲6.1	▲31.4	▲8.0	▲35.6	▲25.1
運輸業	▲12.1	▲26.9	▲21.8	▲24.4	▲36.2	▲17.9	▲31.7	▲26.4	▲14.7	▲31.6	▲18.7	▲15.7
情報通信業	▲54.8	▲24.3	▲29.6	▲30.3	▲39.6	▲34.8	▲4.4	▲22.4	▲31.8	10.3	▲2.5	5.7
飲食、宿泊、サービス業他	▲28.3	▲49.3	▲56.5	▲37.6	▲45.4	▲46.2	▲24.1	▲34.7	▲23.0	▲26.3	▲10.0	▲6.9
県全体	▲17.9	▲29.2	▲35.2	▲27.2	▲33.4	▲31.7	▲20.4	▲20.8	▲21.8	▲19.1	▲3.0	▲7.8

(出典：静岡県内の最近の雇用情勢(静岡労働局))

③ 県内企業の倒産状況

業種別倒産件数(負債金額1千万円以上)の推移

(件)

区分	R2年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年 1月	2月
農・林・漁・鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0
建設業	4	1	2	4	1	1	2	2	3	4	3	3
製造業	6	7	3	4	4	4	6	2	4	5	3	1
卸売・小売業	2	10	4	6	5	3	0	3	5	2	4	2
金融・保険、不動産業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
運輸業	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
情報通信業	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
飲食、宿泊、サービス業他	6	6	2	17	5	6	4	3	3	7	3	3
県全体	18	24	11	32	16	14	13	11	16	19	15	13
うちコロナ関連倒産	0	7	3	5	1	1	4	4	3	4	4	5

(出典：東京商工リサーチ静岡支店調べ)

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

2月 = 33,018百万円

*前年同月比： 3.6%減

(県内3百貨店、152スーパー合計)

<概況>

2月の大型小売店販売額は33,018百万円で、前年同月比 3.6%減となり、4か月連続で前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 8.1%減）が4か月連続、スーパー（同 2.7%減）が5か月ぶりに前年実績を下回った。

商品別では、衣料品（同 14.2%減）が4か月連続、身の回り品（同 7.1%減）が3か月連続、飲食料品（同 1.7%減）が13か月ぶり、家庭用品（同 12.3%減）が8か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は1.0%減と、2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R2年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月
販売額（百万円）	36,427	37,924	34,892	35,902	35,768	44,703	37,063	33,018
前年同月比（%）	▲ 0.4	0.8	▲ 10.7	6.2	▲ 0.3	▲ 1.1	▲ 1.0	▲ 3.6
うち 百貨店（%）	▲ 13.5	▲ 14.1	▲ 31.9	12.4	▲ 11.9	▲ 6.9	▲ 19.9	▲ 8.1
スーパー（%）	2.7	3.7	▲ 5.4	5.1	2.6	0.5	3.7	▲ 2.7
(参考1)全国前年同月比（%）	▲ 4.2	▲ 3.2	▲ 13.9	2.9	▲ 3.4	▲ 3.5	▲ 7.2	▲ 4.7
うち 百貨店（%）	▲ 18.6	▲ 20.0	▲ 32.1	▲ 0.8	▲ 13.6	▲ 13.0	▲ 28.8	▲ 10.2
スーパー（%）	3.0	3.7	▲ 4.7	4.5	1.8	1.6	3.1	▲ 2.6
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	0.9	3.2	▲ 8.4	6.1	▲ 0.5	▲ 1.2	1.4	▲ 1.0

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R2年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月
衣 料 品	▲ 19.8	▲ 17.3	▲ 34.9	5.2	▲ 19.0	▲ 14.2	▲ 29.2	▲ 14.2
うち 紳士服・洋品	▲ 25.9	▲ 27.5	▲ 42.6	▲ 6.8	▲ 30.9	▲ 22.9	▲ 36.7	▲ 25.2
婦人・子供服・洋品	▲ 17.5	▲ 13.9	▲ 31.9	8.0	▲ 14.8	▲ 11.6	▲ 27.5	▲ 10.9
身の回り品	▲ 2.4	▲ 10.3	▲ 29.8	32.9	0.9	▲ 2.6	▲ 18.6	▲ 7.1
飲食料品	3.8	5.3	0.3	4.3	2.8	1.4	4.5	▲ 1.7
家庭用品	▲ 9.8	▲ 10.8	▲ 34.5	▲ 3.3	▲ 9.2	▲ 8.6	▲ 7.7	▲ 12.3
うち家庭用電気機械器具	▲ 0.8	▲ 8.4	▲ 39.9	1.2	11.4	13.4	7.7	▲ 0.7

(注)店舗数調整済、全月速報値

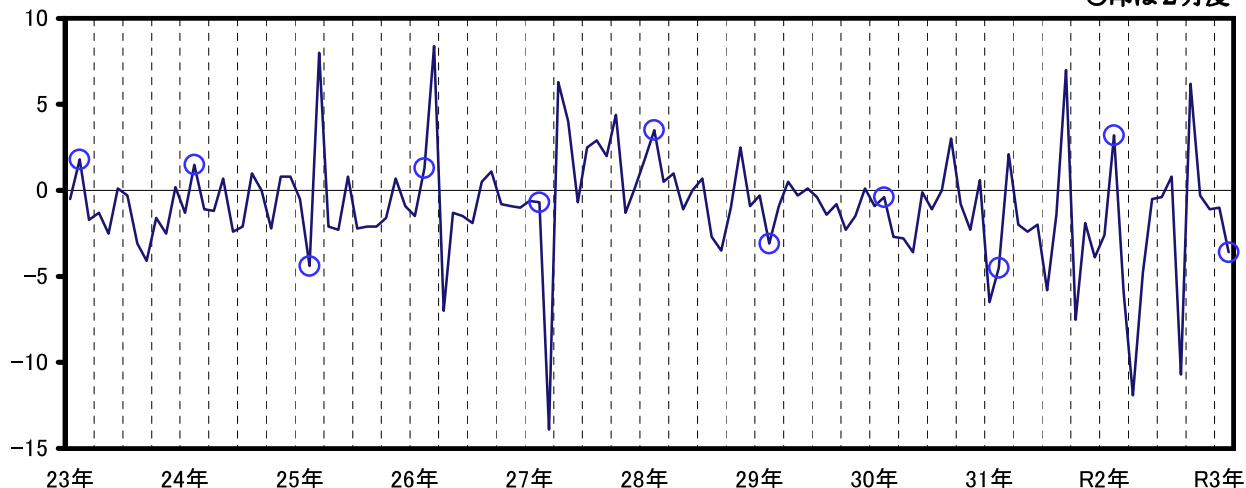
<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省

○印は2月度



(2) 専門量販店等販売額

2月 = 64,036百万円

*前年同月比： 4.5%減

(県内89家電大型専門店、1,682コンビニエンスストア、524ドラッグストア、110ホームセンター合計)

<概況>

2月の専門量販店等販売額は64,036百万円で、前年同月比 4.5%減となり、5か月ぶりに前年実績を下回った。

業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比 8.4%増）が5か月連続で前年実績を上回ったものの、コンビニエンスストア（同 7.6%減）は3か月連続、ドラッグストア（同 6.4%減）、ホームセンター（同 0.2%減）がいずれも5か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R2年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月
販売額（百万円）	75,788	80,322	70,675	72,036	72,618	81,579	70,393	64,036
前年同月比（%）	2.3	4.7	▲ 9.6	9.6	9.2	4.8	4.0	▲ 4.5
うち 家電大型専門店（%）	17.0	13.2	▲ 27.8	30.6	23.8	17.8	18.6	8.4
コンビニエンスストア（%）	▲ 8.3	▲ 5.5	▲ 3.0	3.2	5.1	▲ 3.5	▲ 4.5	▲ 7.6
ドラッグストア（%）	7.3	9.6	▲ 7.6	13.5	9.8	7.7	5.8	▲ 6.4
ホームセンター（%）	10.3	19.6	▲ 12.2	7.2	9.7	9.9	14.8	▲ 0.2
(参考)全国前年同月比（%）	1.1	2.9	▲ 10.6	5.2	5.4	3.4	2.1	▲ 4.2

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

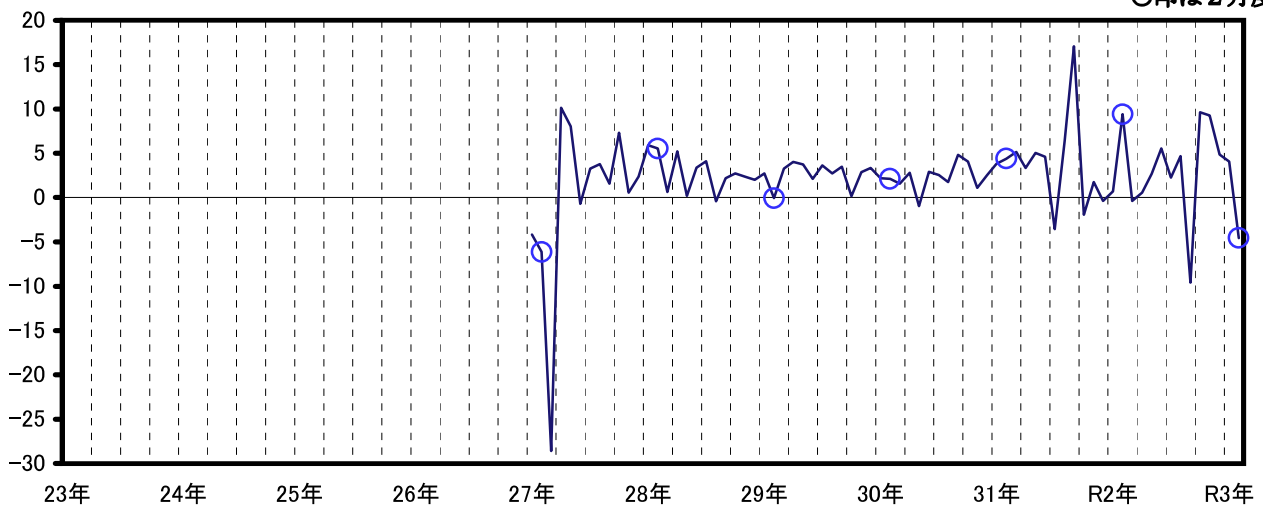
(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は2月度



(3) 自動車(新車)新規登録台数

2月 = 16,244 台

*前年同月比： 1.9%増

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

2月の自動車(新車)新規登録台数は16,244台(前年同月比 1.9%増)と、5か月連続で前年実績を上回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 0.1%減)が5か月ぶりに前年実績を下回ったが、軽自動車(同 4.0%増)が5か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R2年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月
登録台数(台)	13,880	11,435	16,554	14,337	14,336	13,824	14,779	16,244
前年同月比(%)	▲12.1	▲12.0	▲11.6	30.8	11.0	16.3	7.2	1.9
(参考)全国前年同月比(%)	▲12.8	▲14.8	▲14.8	30.8	6.7	10.9	7.8	0.0

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

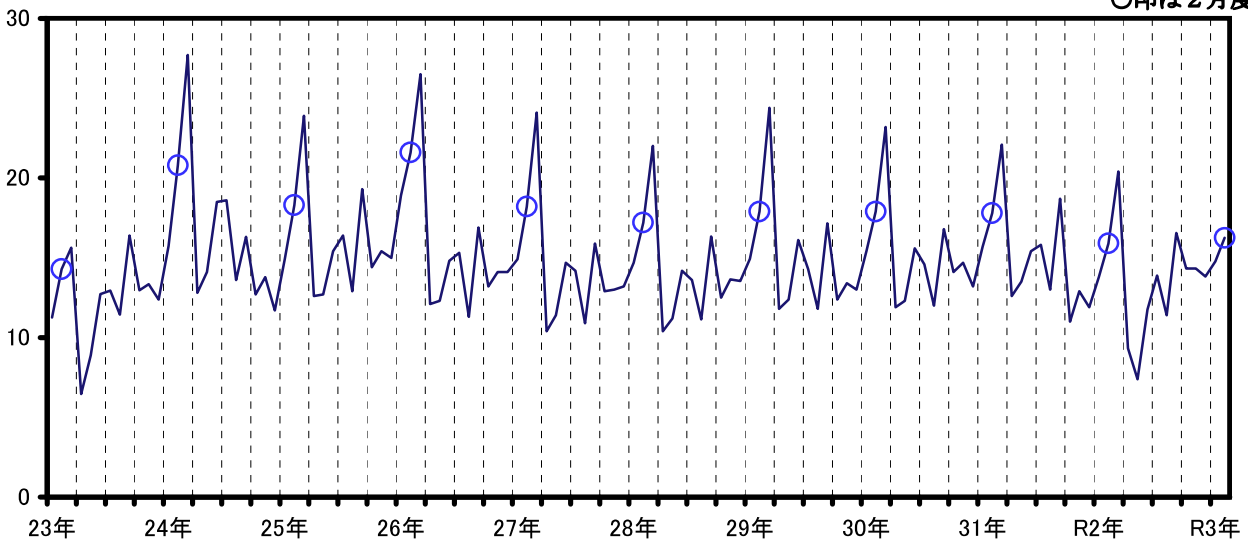
	R2年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月
全乗用車	▲12.1	▲12.0	▲11.6	30.8	11.0	16.3	7.2	1.9
乗用車	▲18.6	▲15.5	▲15.5	39.1	10.4	18.1	11.2	▲0.1
軽自動車	▲4.2	▲8.2	▲6.8	22.3	11.7	14.1	3.0	4.0

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課
○印は2月度



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

2月 = 1,625 戸

*前年同月比： 16.8%増

<概況>

2月の新設住宅着工戸数は1,625戸で、前年同月比 16.8%増と、3か月ぶりに前年実績を上回った。
 利用関係別にみると、持家（前年同月比 12.6%増）が11か月ぶり、貸家（同 17.3%増）が3か月ぶり、分譲住宅（同 29.7%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

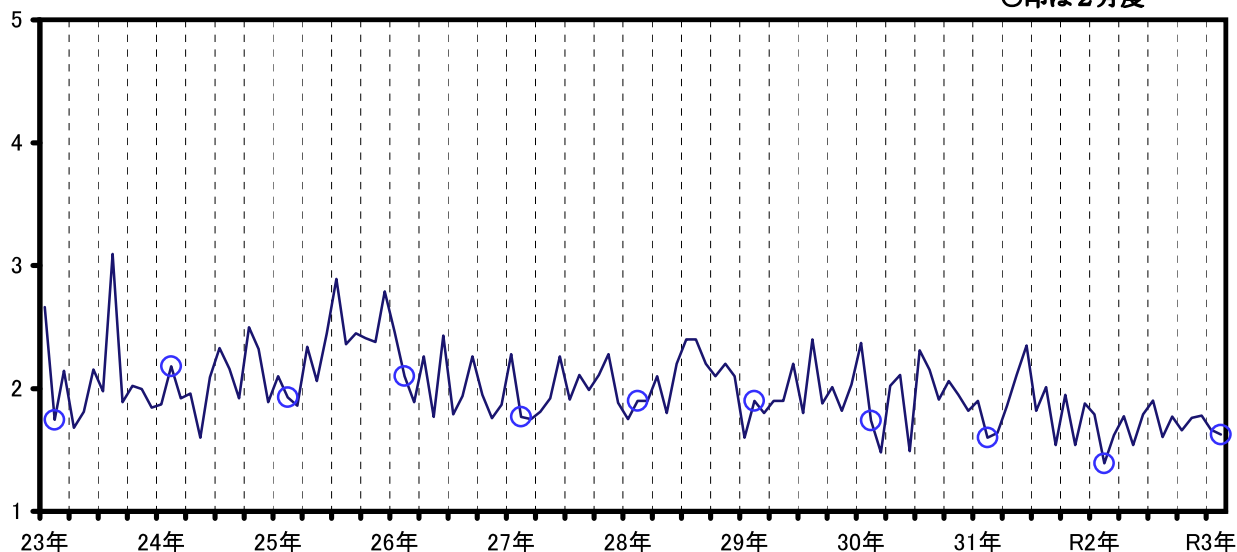
	R2年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月
戸数 (戸)	1,902	1,606	1,773	1,661	1,763	1,780	1,665	1,625
前年同月比 (%)	4.4	▲ 20.2	15.4	▲ 14.9	14.6	▲ 5.4	▲ 7.1	16.8
うち持家 (%)	▲ 13.2	▲ 22.7	▲ 1.0	▲ 10.4	▲ 3.4	▲ 0.6	▲ 3.4	12.6
貸家 (%)	▲ 1.4	▲ 23.5	45.0	▲ 23.8	23.7	▲ 16.0	▲ 18.5	17.3
分譲住宅 (%)	92.7	▲ 5.2	32.6	▲ 15.9	▲ 21.0	4.3	15.0	29.7
(参考)全国前年同月比 (%)	▲ 11.4	▲ 9.1	▲ 9.9	▲ 8.3	▲ 3.7	▲ 9.0	▲ 3.1	▲ 3.7

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課
 ○印は2月度



3 公共工事請負金額

2月 = 7,517百万円

*前年同月比： 45.9%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

2月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は7,517百万円で、前年同月比 45.9%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は158件で、前年同月比 46.8%減となり、5か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R2年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月
金額（百万円）	41,226	37,227	53,175	21,874	17,953	15,521	9,524	7,517
前年同月比（%）	▲ 3.0	23.9	▲ 17.2	▲ 34.6	5.2	1.1	▲ 33.9	▲ 45.9
年度累計前年同月比（%）	13.0	14.5	7.5	3.2	3.3	3.2	1.8	0.0
件数（件）	857	782	1,274	784	664	511	253	158
前年同月比（%）	▲ 2.7	2.8	18.4	▲ 15.8	▲ 1.6	▲ 6.2	▲ 34.3	▲ 46.8
年度累計前年同月比（%）	2.2	2.3	6.2	2.4	2.0	1.3	▲ 0.7	▲ 2.5

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

	R2年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月
国	23.7	23.5	40.6	▲ 66.9	95.4	200.2	▲ 32.9	▲ 37.7
独立行政法人等	255.5	407.7	▲ 70.7	58.2	▲ 12.0	▲ 60.2	▲ 91.2	-
県	▲ 7.2	39.0	24.6	▲ 34.2	▲ 1.9	27.6	▲ 30.2	▲ 39.1
市 町	▲ 18.2	▲ 6.7	12.6	▲ 25.6	▲ 3.3	▲ 5.3	▲ 36.0	▲ 48.7
地方公社	▲ 78.4	▲ 98.6	▲ 64.9	▲ 39.6	439.4	-	-	-
その他	▲ 28.1	▲ 44.5	▲ 45.3	▲ 61.4	▲ 85.9	▲ 68.0	35.8	▲ 27.4

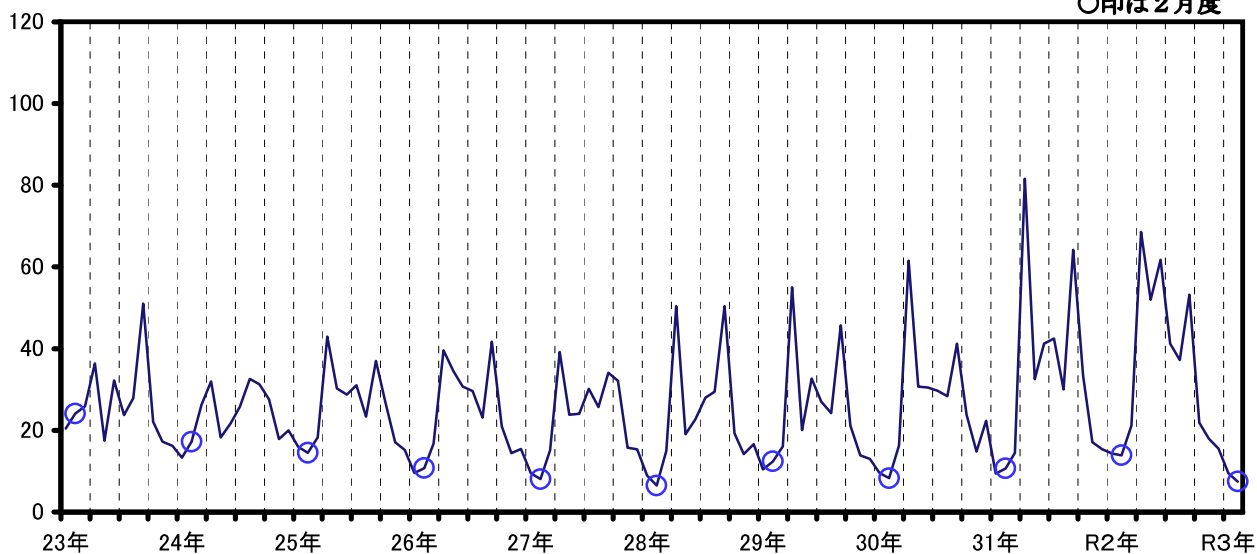
<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

○印は2月度



4 設備投資

<概況>

令和元年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、いずれも製造業、非製造業、全産業の全てにおいて増加した。

令和2年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 3.3%減）、非製造業（同 2.6%減）、全産業（同 2.9%減）においていずれも減少する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 0.7%増）で増加、非製造業（同 3.1%減）で減少し、全産業（同 0.4%減）では減少する計画となっている。

2月の着工建築物床面積（非居住用）は69,047㎡で、前年同月比 1.4%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
全産業	県	5.2	(3.2) ▲2.9
	全国	▲0.6	(▲1.3) ▲3.9
製造業	県	9.4	(5.9) ▲3.3
	全国	0.9	(▲2.8) ▲3.1
非製造業	県	1.0	(0.6) ▲2.6
	全国	▲1.5	(▲0.4) ▲4.5

（ ）内は前回調査比修正率 ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
全産業	県	1.4	(2.5) ▲0.4
	全国	1.6	(▲2.1) ▲3.0
製造業	県	0.7	(3.4) 0.7
	全国	1.7	(▲2.8) ▲2.6
非製造業	県	3.0	(0.0) ▲3.1
	全国	1.5	(▲1.2) ▲3.4

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（令和2年12月調査）」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」（令和2年12月調査）」

<最近の動き>

	R2年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	132,677	100,766	88,933	102,751	60,377	57,195	70,088	69,047
前年同月比（%）	24.5	▲14.8	▲2.5	▲45.9	▲49.0	▲56.4	6.7	1.4
（参考）全国前年同月比（%）	▲22.6	▲8.2	7.8	▲7.3	▲10.1	▲14.8	13.2	▲7.2

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D.I.>

		R2年9月	12月	R3年3月 (予測)
全産業	全産業	▲33	▲20	▲21
	製造業	▲43	▲24	▲24
	非製造業	▲24	▲15	▲16
（参考）全国・全産業		▲28	▲15	▲18

（注4）業況判断D.I.：「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（令和2年12月調査）」

5 輸出

2月 = 194,233百万円

*前年同月比： 9.2%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

2月の清水税関支署管内の輸出総額は194,233百万円で、前年同月比 9.2%増となり、6か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、エアコン（前年同月比 1.9%減）が5か月ぶり、自動車の部分品（同 2.9%減）が2か月連続、二輪自動車類（同 11.2%減）が14か月連続、科学光学機器（同 4.1%減）が6か月ぶりに前年実績を下回ったものの、原動機（前年同月比 11.8%増）、自動車（同 20.8%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

地域別にみると、米国向け（同 8.7%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、アジア向け（前年同月比 21.2%増）が6か月連続、EU向け（同 12.6%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R2年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月
輸出総額(百万円)	142,582	140,514	216,900	190,032	189,052	209,438	168,601	194,233
前年同月比(%)	▲ 31.5	▲ 13.5	32.3	1.4	7.2	12.0	8.9	9.2

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月
原動機	▲ 40.4	▲ 39.4	▲ 20.5	▲ 14.8	6.9	28.7	▲ 15.9	11.8
エアコン	▲ 40.5	▲ 39.3	▲ 8.4	9.6	32.8	31.3	33.4	▲ 1.9
自動車	102.7	66.6	90.1	84.0	6.1	27.0	▲ 7.2	20.8
自動車の部分品	▲ 49.9	▲ 38.9	▲ 10.9	▲ 9.7	▲ 3.1	7.8	▲ 4.3	▲ 2.9
二輪自動車類	▲ 41.0	▲ 25.5	▲ 12.8	▲ 27.3	▲ 39.7	▲ 30.3	▲ 19.2	▲ 11.2
科学光学機器	▲ 0.7	▲ 4.5	25.3	3.6	39.9	30.1	18.6	▲ 4.1

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月
アジア	▲ 18.4	▲ 12.6	16.2	7.5	18.0	20.8	27.8	21.2
米国	▲ 61.8	▲ 30.4	67.3	▲ 8.5	▲ 3.8	7.6	▲ 4.1	▲ 8.7
EU	▲ 0.1	3.8	31.9	▲ 0.6	▲ 0.3	14.4	▲ 3.5	12.6

<資料>清水税関支署

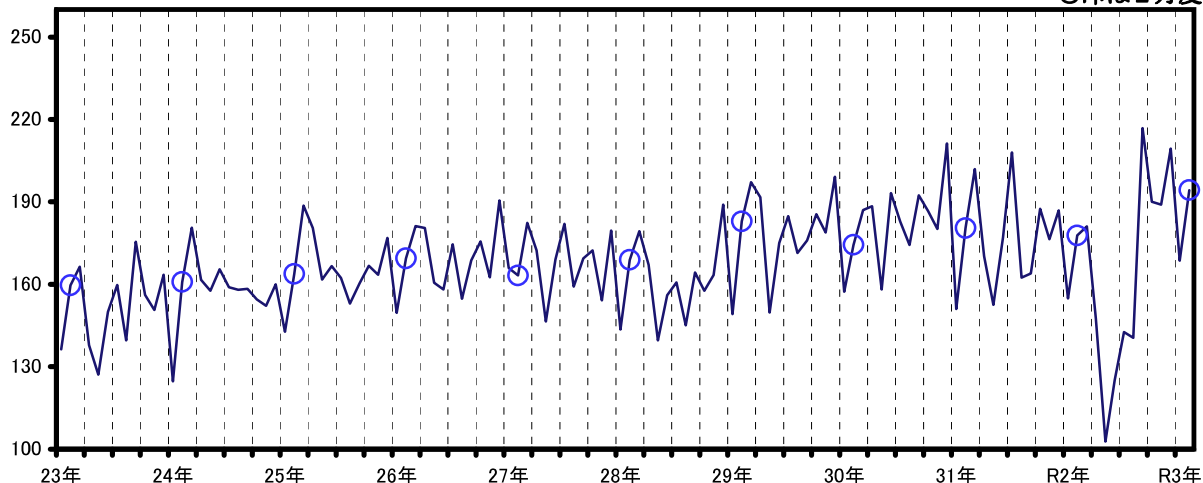
(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は2月度



6 輸入

2月 = 80,014百万円

*前年同月比： 20.1%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

2月の清水税関支署管内の輸入総額は80,014百万円で、前年同月比 20.1%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、木材(同 14.7%減)が8か月連続、パルプ(同 6.5%減)が2か月連続、紙類及び同製品(同 38.4%減)が3か月連続で前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品(前年同月比 0.4%増)、自動車の部分品(同 16.5%増)が2か月連続、原動機(同 61.1%増)が2か月ぶりに前年実績を上回った。

地域別では、EU向け(同 16.7%減)が3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、アジア向け(前年同月比 35.8%増)が4か月ぶり、米国向け(同 62.3%増)が2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R2年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月
輸入総額(百万円)	72,104	70,498	72,337	89,835	85,659	82,321	80,537	80,014
前年同月比(%)	▲ 21.2	▲ 15.3	▲ 13.5	3.6	▲ 6.1	2.0	▲ 11.4	20.1

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月
魚介類及び同調製品	▲ 27.9	▲ 18.8	▲ 4.0	▲ 3.8	15.1	▲ 3.4	12.5	0.4
木 材	▲ 27.9	▲ 13.9	▲ 34.5	▲ 11.7	▲ 24.0	▲ 9.6	▲ 42.8	▲ 14.7
パ ル プ	▲ 9.2	▲ 36.1	▲ 29.9	▲ 3.8	▲ 26.4	11.0	▲ 0.3	▲ 6.5
紙 類 及 び 同 製 品	▲ 32.9	▲ 34.9	▲ 22.1	▲ 10.3	4.6	▲ 19.6	▲ 44.9	▲ 38.4
原 動 機	▲ 30.7	▲ 42.0	▲ 11.8	8.9	14.5	67.3	▲ 5.1	61.1
自 動 車 の 部 分 品	▲ 36.4	▲ 26.9	▲ 42.1	▲ 6.4	▲ 5.0	▲ 3.9	44.0	16.5

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月
ア ジ ア	▲ 23.5	▲ 8.5	▲ 21.4	12.9	▲ 6.5	▲ 1.1	▲ 9.5	35.8
米 国	▲ 43.0	7.5	▲ 13.0	15.7	▲ 4.1	10.9	▲ 16.0	62.3
E U	▲ 24.9	▲ 1.4	1.7	▲ 2.5	▲ 5.2	14.5	4.9	▲ 16.7

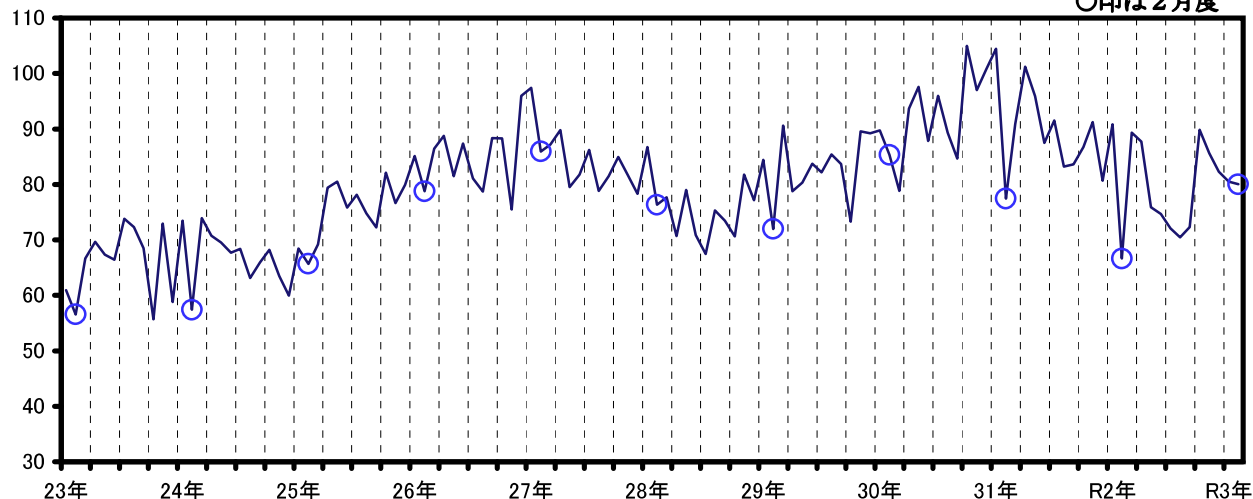
<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は2月度



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

2月 = 90.8

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 4.2%減

*前年同月比(原指数) : 3.9%減

<概況>

2月の鉱工業生産指数(総合)は90.8(季節調整済指数)で、前月比は4.2%減と、3か月ぶりに下降した。また、前年同月比(原指数)は3.9%減と、21か月連続で前年水準を下回った。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比 5.7%増)が16か月ぶり、電気機械(同 7.1%増)が6か月連続で前年水準を上回ったものの、輸送機械(同 6.5%減)が2か月連続、化学(同 8.5%減)が13か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同 3.6%減)が19か月連続、食料品・たばこ(同 15.0%減)が6か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R2年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月
指数	88.5	90.1	94.1	94.3	92.7	93.6	94.8	90.8
前月比(%)	7.8	1.8	4.4	0.2	▲1.7	1.0	1.3	▲4.2
前年同月比(%)	▲12.5	▲10.2	▲3.9	▲6.4	▲9.3	▲2.6	▲8.3	▲3.9
(参考)全国前年同月比(%)	▲15.9	▲14.0	▲9.1	▲3.4	▲4.1	▲2.9	▲5.3	▲2.0

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲33.2	▲26.4	▲23.5	▲19.4	▲22.9	▲17.9	▲12.7	5.7
電気機械工業	▲16.0	▲10.0	4.7	0.3	0.9	5.5	9.6	7.1
輸送機械工業	▲2.6	▲4.8	4.8	0.2	▲7.9	1.2	▲7.1	▲6.5
化学工業	▲10.3	▲16.0	▲5.3	▲16.8	▲15.7	▲7.0	▲19.3	▲8.5
パルプ・紙・紙加工品工業	▲14.1	▲4.7	▲6.2	▲2.6	▲3.9	▲1.9	▲4.1	▲3.6
食料品・たばこ工業	▲7.6	0.5	▲4.7	▲9.5	▲9.5	▲2.2	▲13.9	▲15.0

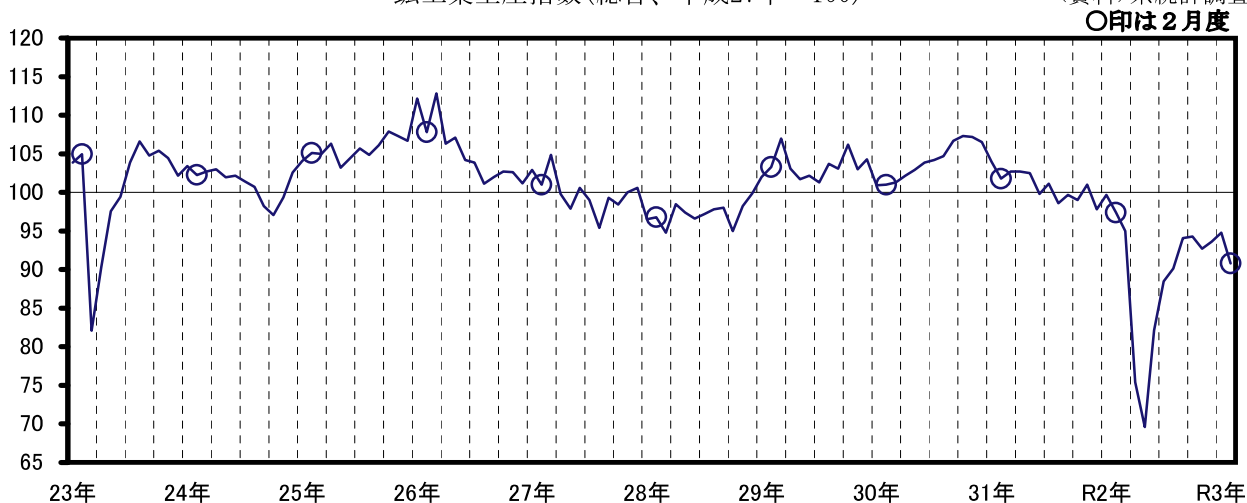
(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



(2) 鋳工業在庫指数

2月 = 104.0

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 1.1%減

*前年同月比(原指数) : 4.2%減

<概況>

2月の鋳工業在庫指数(総合)は104.0(季節調整済指数)で、前月比は1.1%減と、4か月ぶりに下降した。また、前年同月比(原指数)は4.2%減と、7か月連続で前年水準を下回った。なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比12.3%減)が3か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同1.0%減)が2か月連続、食料品・たばこ(同11.2%減)が9か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械(同8.3%増)が14か月ぶり、化学(同1.1%増)が9か月ぶりに前年水準を上回った。輸送機械(同0.0%)は前年水準と同等であった。

<最近の動き>

	R2年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月
指数	107.8	105.9	104.8	101.9	104.0	104.3	105.2	104.0
前月比(%)	2.3	▲1.8	▲1.0	▲2.8	2.1	0.3	0.9	▲1.1
前年同月比(%)	0.5	▲2.7	▲0.8	▲4.6	▲3.6	▲4.7	▲7.7	▲4.2
(参考)全国前年同月比(%)	▲4.7	▲5.6	▲5.7	▲8.1	▲9.1	▲8.4	▲10.2	▲9.5

(注)平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月
はん用・生産用・業務用機械工業	10.6	9.6	8.1	5.0	0.3	▲0.6	▲5.3	▲12.3
電気機械工業	▲12.5	▲13.4	▲5.4	▲0.5	▲2.4	▲3.4	▲3.2	8.3
輸送機械工業	54.1	21.6	58.7	14.2	24.7	27.3	22.0	0.0
化学工業	▲1.8	▲6.3	▲6.5	▲16.3	▲9.1	▲18.6	▲22.9	1.1
パルプ・紙・紙加工品工業	0.0	4.6	10.4	8.7	8.8	3.4	▲5.2	▲1.0
食料品・たばこ工業	▲4.4	▲5.7	▲13.7	▲9.0	▲13.8	▲6.8	▲7.3	▲11.2

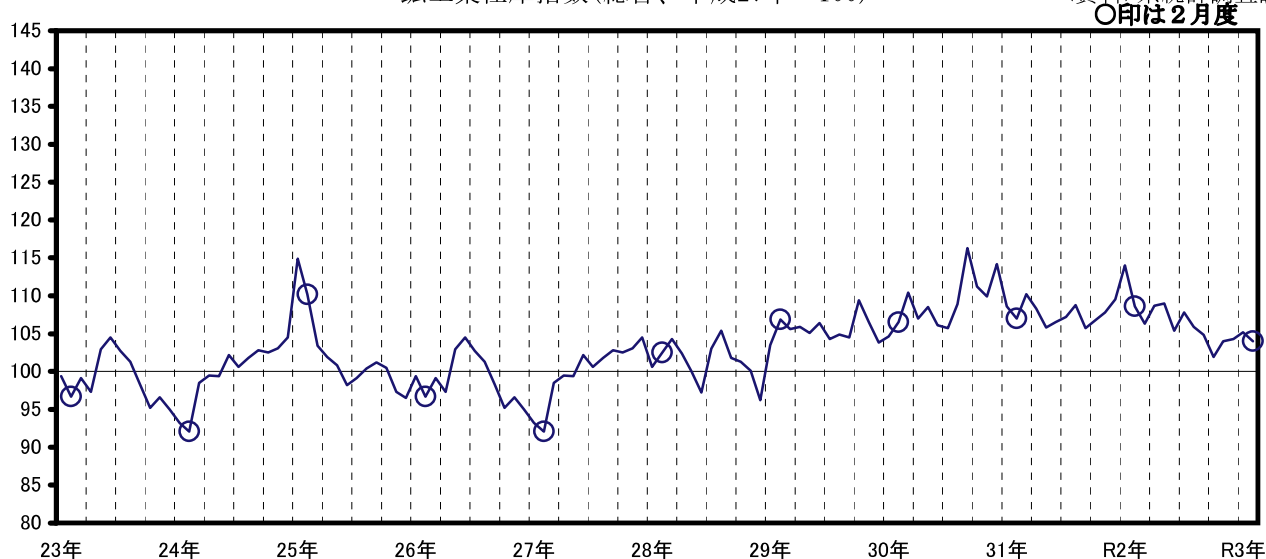
(注)平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

2月 = 1.00倍

*前月比(季節調整値) : 0.02ポイント増

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

<概況>

2月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.00倍となり、前月を0.02ポイント上回った。9か月ぶりに1倍台となり、全国値を18か月連続で下回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比4.9%減)は30か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、建設業(前年同月比17.2%増)が5か月連続、製造業(同0.4%増)が27か月ぶり、サービス業(他に分類されないもの)(同12.3%増)が22か月ぶりに前年実績を上回ったものの、情報通信業(同1.7%減)が13か月連続、運輸業・郵便業(同16.4%減)、卸売業・小売業(同13.0%減)がいずれも14か月連続、医療・福祉(同11.7%減)が16か月連続、前年実績を下回った。

<最近の動き>

(単位:倍)

	R2年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月
県	0.94	0.91	0.91	0.92	0.93	0.92	0.98	1.00
全 国	1.09	1.05	1.04	1.04	1.05	1.05	1.10	1.09

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月
建設業	▲0.9	▲7.8	▲3.6	10.0	0.4	4.9	22.6	17.2
製造業	▲48.0	▲44.3	▲27.7	▲35.6	▲22.6	▲21.6	▲13.0	0.4
情報通信業	▲42.0	▲33.8	▲28.0	▲20.6	▲38.7	▲17.7	▲7.2	▲1.7
運輸業・郵便業	▲34.0	▲13.5	▲42.5	▲24.5	▲12.7	▲33.1	▲18.3	▲16.4
卸売業・小売業	▲28.1	▲36.7	▲24.3	▲20.6	▲30.3	▲15.4	▲2.6	▲13.0
医療・福祉	▲10.8	▲26.8	▲11.6	▲6.6	▲20.1	▲14.3	▲0.2	▲11.7
サービス業(他に分類されないもの)	▲53.4	▲47.1	▲31.0	▲38.3	▲18.6	▲29.0	▲10.2	12.3
合計	▲32.7	▲31.5	▲22.0	▲20.0	▲20.6	▲19.2	▲4.7	▲4.9

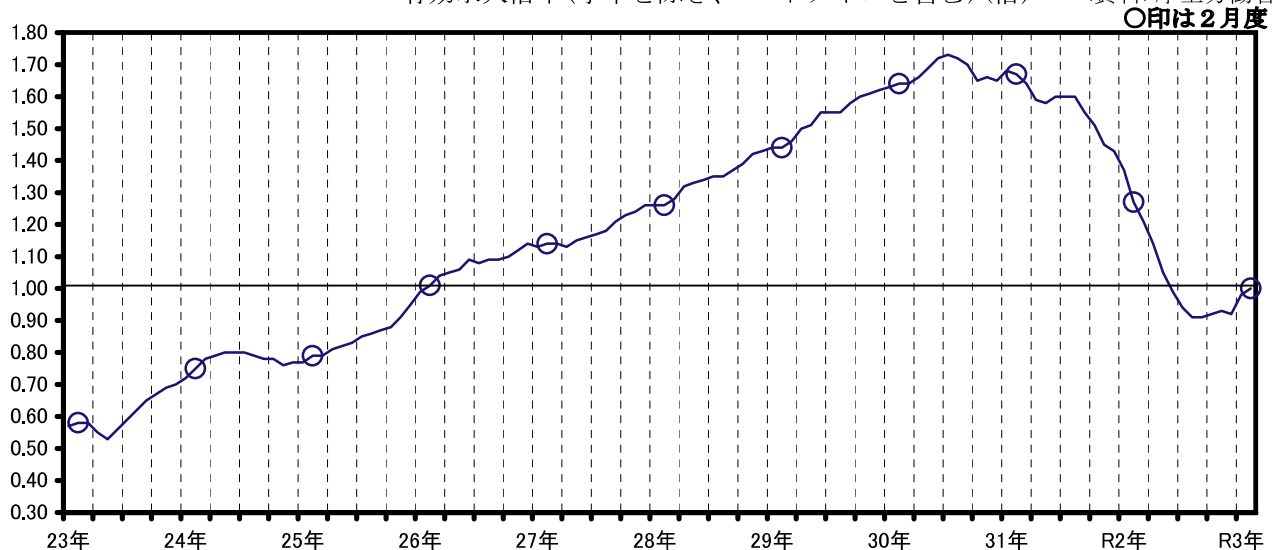
(注)学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

2月 = 12,505人

*前月比: 6.3%減

*前年同月比: 23.3%増

<概況>

2月の雇用保険受給者実人員は12,505人で、前月比は6.3%減と、6か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は23.3%増と18か月連続で前年実績を上回った。

完全失業率(全国)は2.9%と前月からの改善は見られなかった。

静岡県(令和2年10~12月)の完全失業率は2.5%で、前期(令和2年7~9月)から0.1ポイント改善した。

<最近の動き>

	R2年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月
実人員(人)	16,199	16,852	16,694	15,937	14,632	13,707	13,345	12,505
前月比(%)	14.2	4.0	▲0.9	▲4.5	▲8.2	▲6.3	▲2.6	▲6.3
前年同月比(%)	41.8	48.3	44.8	38.0	34.3	28.4	24.5	23.3
(参考)全国前年同月比(%)	27.6	33.2	35.8	32.2	27.4	21.7	16.9	22.0

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R2年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R3年1月	2月
完全失業率(全国)(%)	2.9	3.0	3.0	3.1	3.0	3.0	2.9	2.9

(注)季節調整値

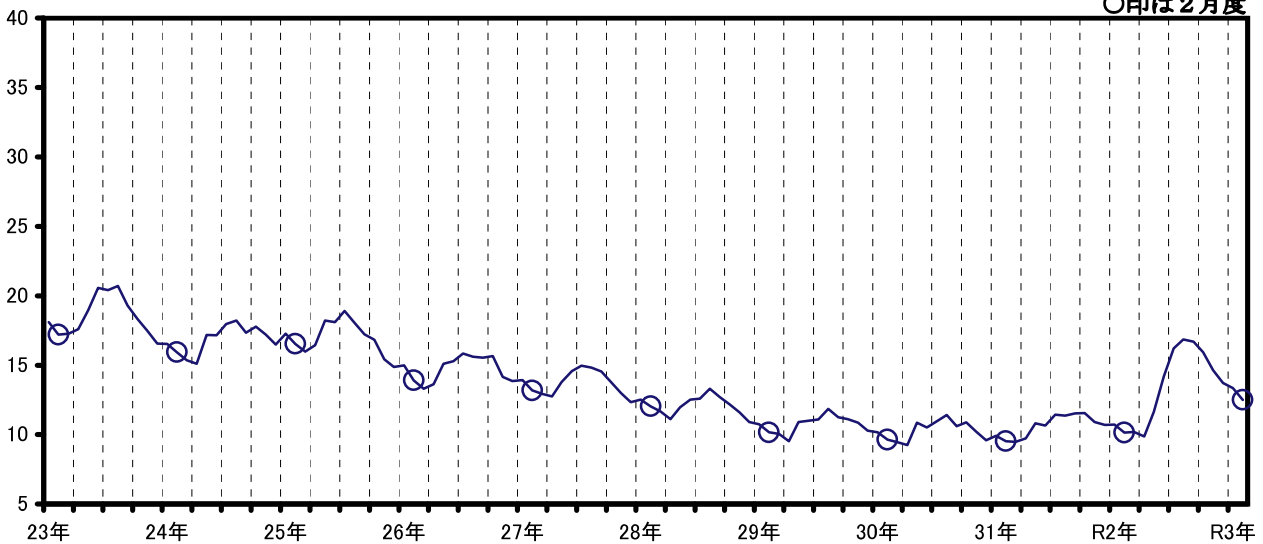
<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省

○印は2月度



(3) 所定外労働時間指数

12月 = 74.9

*前月比(季節調整済指数): 同水準

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 11.2%減

<概況>

12月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は74.9(季節調整済指数)で、前月と同水準だった。また、前年同月比(原指数)は11.2%減と、23か月連続で前年実績を下回った。

業種別にみると、建設業(前年同月比 9.9%増)が2か月連続、医療・福祉(同 16.9%増)が7か月連続、その他のサービス業(同 13.0%増)が9か月ぶりに前年実績を上回ったものの、製造業(同 13.8%減)が26か月連続、情報通信業(同 17.5%減)が13か月連続、運輸業・郵便業(同 30.0%減)が14か月連続、卸売業・小売業(同 23.5%減)が9か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
指数	55.1	57.9	64.3	70.7	72.8	71.7	74.9	74.9
前月比(%)	▲23.0	5.1	11.1	10.0	3.0	▲1.5	4.5	0.0
前年同月比(%)	▲38.2	▲31.7	▲26.6	▲22.7	▲16.8	▲15.2	▲10.3	▲11.2
(参考)全国前年同月比(%)	▲30.6	▲24.3	▲16.3	▲14.7	▲12.4	▲10.3	▲9.5	▲6.5

*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R2年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
建設業	2.5	▲31.1	27.8	32.5	▲12.4	▲22.2	2.7	9.9
製造業	▲54.1	▲39.3	▲35.0	▲33.1	▲20.2	▲15.9	▲8.1	▲13.8
情報通信業	▲25.8	▲23.5	▲36.7	▲39.1	▲31.6	▲18.0	▲17.1	▲17.5
運輸業・郵便業	▲25.2	▲37.9	▲29.2	▲30.7	▲29.1	▲27.3	▲27.9	▲30.0
卸売業・小売業	▲25.6	▲13.7	▲25.6	▲15.0	▲18.4	▲29.2	▲22.7	▲23.5
医療・福祉	0.0	39.2	11.1	20.9	25.8	22.8	24.1	16.9
その他のサービス業	▲35.7	▲23.2	▲20.2	▲4.2	▲19.0	▲11.0	▲9.6	13.0
調査産業計	▲38.2	▲31.7	▲26.6	▲22.7	▲16.8	▲15.2	▲10.3	▲11.2

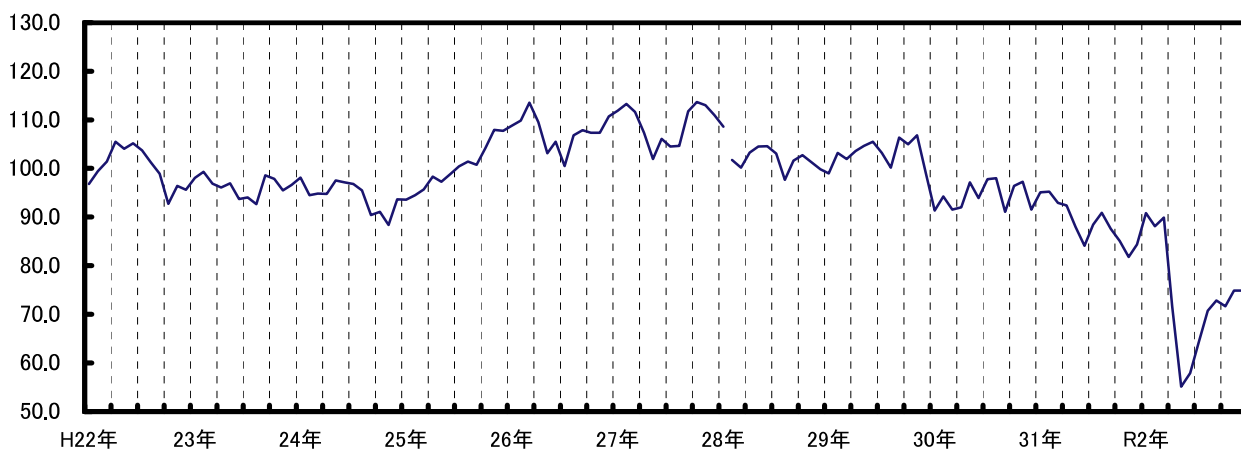
*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

3 月 = 102.1

*前 月 比: 0.8%上昇

*前年同月比: 1.0%上昇

(平成27年=100)

<概 況>

3月の国内企業物価指数は102.1となり、前月比は0.8%の上昇となった。また、前年同月比は1.0%の上昇となった。

<最近の動き>

	R 2年8月	9月	10月	11月	12月	R 3年1月	2月	3月
国内企業物価指数	100.3	100.1	99.9	99.8	100.3	100.7	101.3	102.1
前 月 比 (%)	0.2	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 0.1	0.5	0.4	0.6	0.8
前年同月比 (%)	▲ 0.6	▲ 0.8	▲ 2.1	▲ 2.3	▲ 2.0	▲ 1.6	▲ 0.6	1.0

*平成27年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

2 月 = 145,359億円

*前 月 比: 0.0%増

*前年同月比: 6.3%増

(銀行、信用金庫)

<概 況>

2月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は145,359億円で、前月比は0.0%の増加となった。また、前年同月比は6.3%の増加となった。

	R 2年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 3年1月	2月
貸出残高(億円)	145,237	145,086	145,276	145,328	145,170	145,997	145,349	145,359
前 月 比 (%)	0.6	▲ 0.1	0.1	0.0	▲ 0.1	0.6	▲ 0.4	0.0
前年同月比 (%)	7.0	7.0	6.7	7.7	7.3	7.2	6.5	6.3

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

2 月 = 1.430%

*前 月 差: 0.004ポイント減

*前年同月差: 0.092ポイント減

(県内地銀4行総平均)

<概 況>

2月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.430%で、前月から0.004ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.092ポイントのマイナスとなった。

	R 2年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 3年1月	2月
貸出約定金利(%)	1.463	1.460	1.453	1.448	1.446	1.435	1.434	1.430
前月差(ポイント)	▲ 0.002	▲ 0.003	▲ 0.007	▲ 0.005	▲ 0.002	▲ 0.011	▲ 0.001	▲ 0.004
前年同月差(ポイント)	▲ 0.121	▲ 0.117	▲ 0.112	▲ 0.113	▲ 0.104	▲ 0.096	▲ 0.094	▲ 0.092

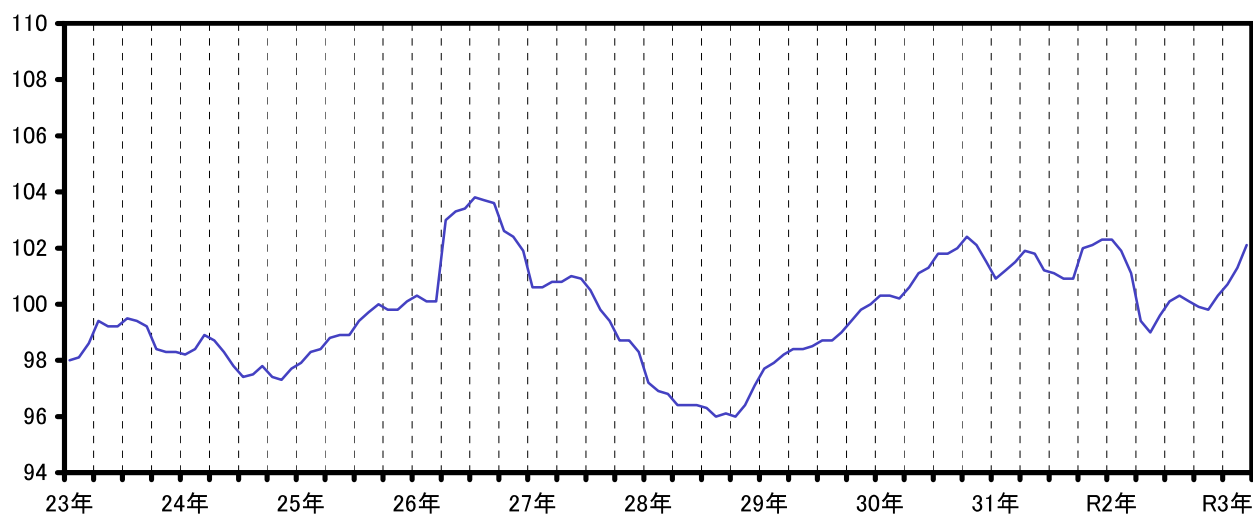
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

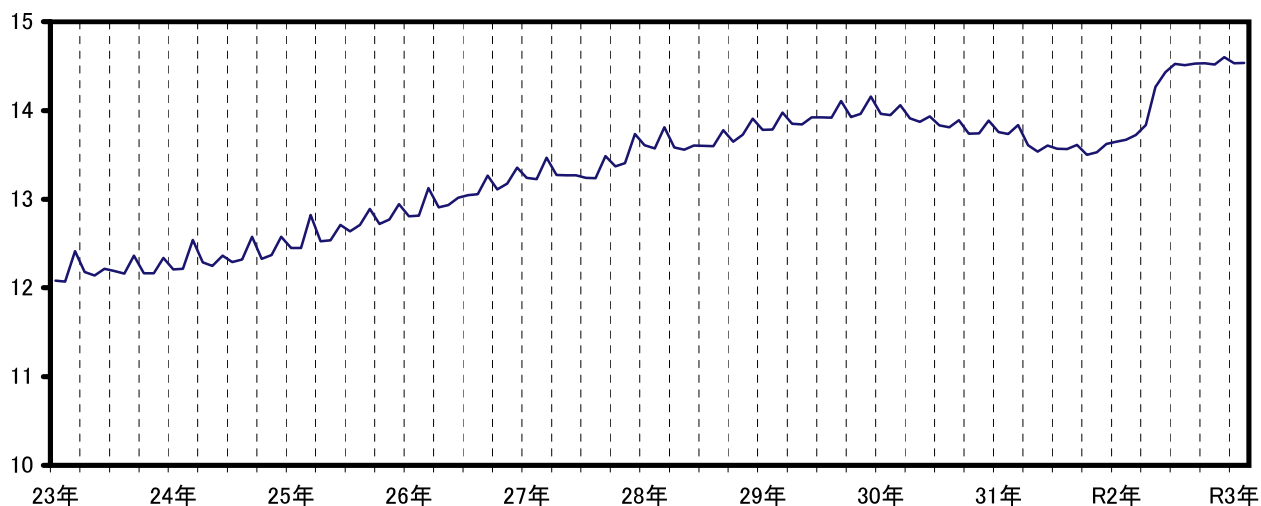
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



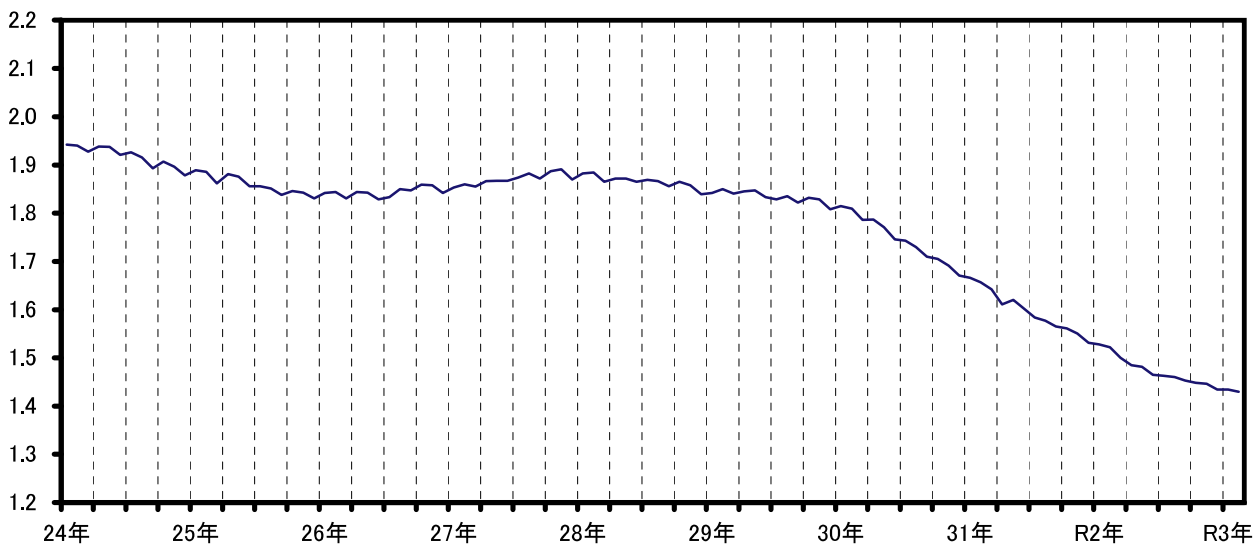
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**2月 = 74,214百万円**

*前年同月比： 500.4%増

<概況>

2月の保証承諾は、金額は74,214百万円（前年同月比 500.4%増）、件数は5,337件（同 344.3%増）と、いずれも12か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 2年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 3年1月	2月
保証金額（百万円）	144,620	60,088	46,212	39,846	42,712	56,544	29,352	74,214
前年同月比（%）	933.1	408.5	243.4	228.0	209.3	280.9	210.0	500.4
保証件数（件）	10,346	4,791	3,836	3,485	3,615	5,220	2,769	5,337
前年同月比（%）	620.6	296.3	208.0	193.5	179.8	257.4	195.6	344.3

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**3月 = 108.65円/ドル**

*前月差： 3.29円安

(東京・銀行間直物中心・平均)

*前年同月差： 1.36円安

<概況>

3月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は108.65円で、前月と比べて3.29円の円安となり、2か月連続で円安となった。

<最近の動き>

▲…円高

	R 2年8月	9月	10月	11月	12月	R 3年1月	2月	3月
平均相場（円）	106.04	105.74	105.24	104.40	103.82	103.70	105.36	108.65
前月差（円）	▲ 0.74	▲ 0.30	▲ 0.50	▲ 0.84	▲ 0.58	▲ 0.12	1.66	3.29
前年同月差（円）	▲ 0.23	▲ 1.67	▲ 2.88	▲ 4.46	▲ 5.36	▲ 5.64	▲ 4.60	1.36

(注)東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****3月 = 18件**

*前年同月比： 0.0%増

<概況>

3月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は18件（前年同月比 0.0%増）、負債総額は2,844百万円（同 25.2%増）と、いずれも前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が15件と全体の83.3%を占め、280か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

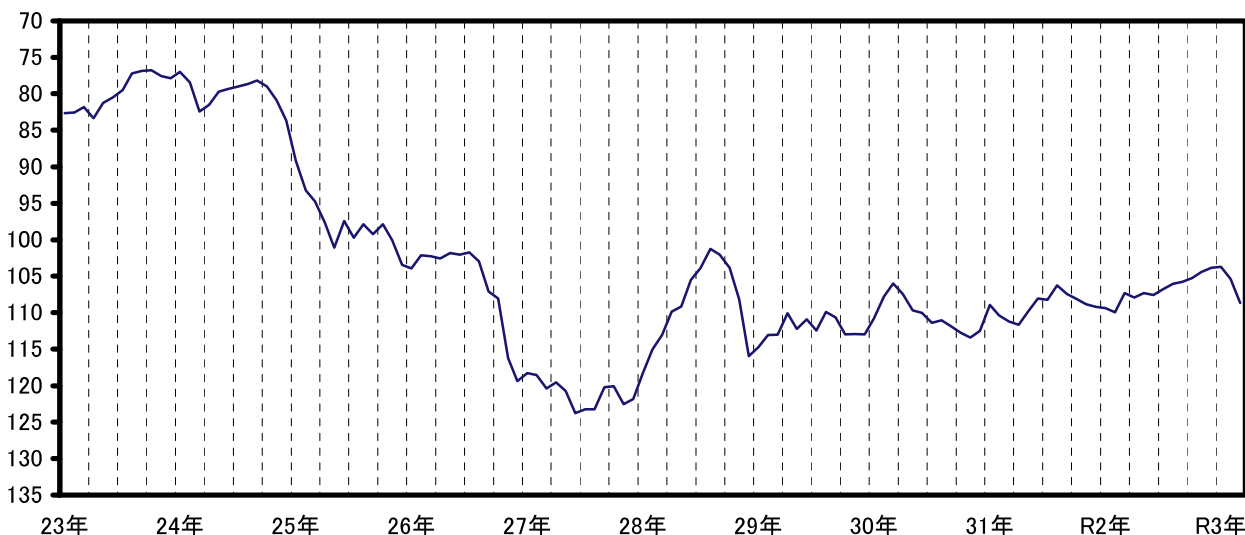
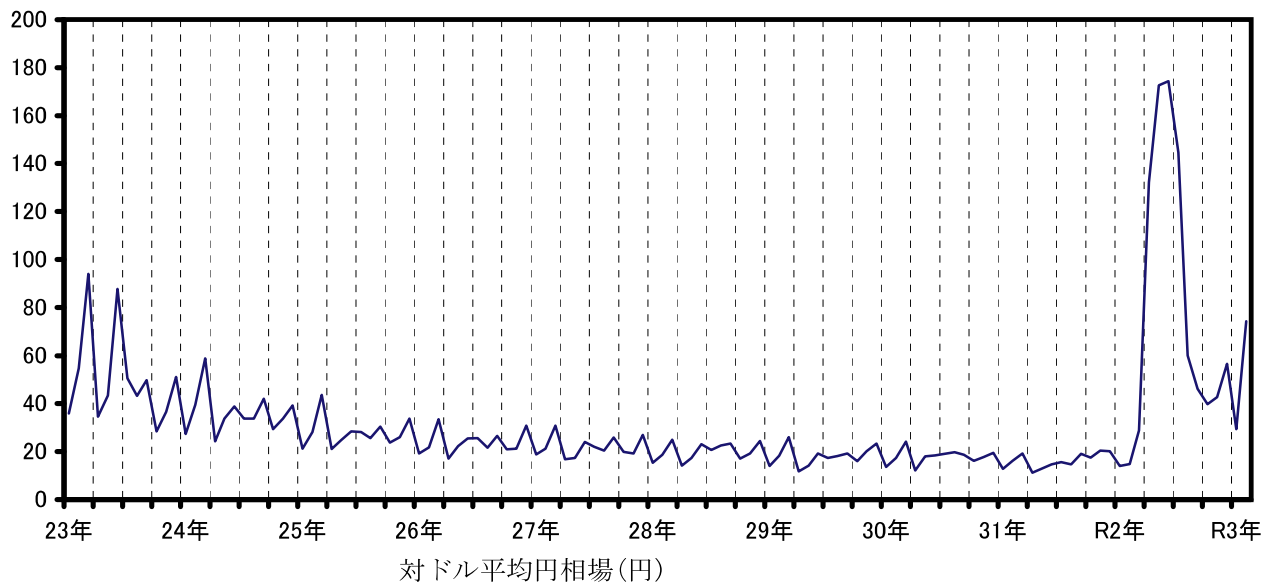
	R 2年8月	9月	10月	11月	12月	R 3年1月	2月	3月
倒産件数（件）	14	13	11	16	19	15	13	18
前年同月比（%）	16.6	▲ 35.0	▲ 26.6	▲ 30.4	58.3	▲ 16.6	18.1	0.0
うち不況型倒産件数(件)	13	12	9	16	16	13	13	15
負債総額（百万円）	1,907	1,136	809	1,657	1,942	14,979	3,149	2,844
前年同月比（%）	30.7	▲ 26.3	▲ 53.0	▲ 42.9	▲ 95.2	151.9	117.4	25.2

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社

<過去10年間の推移>

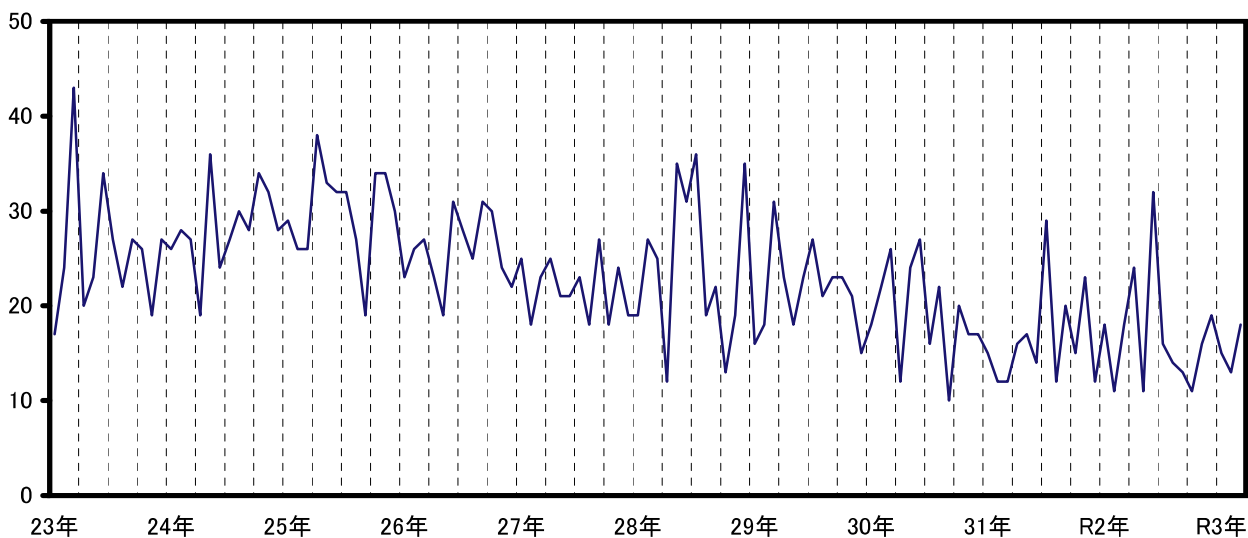
信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和3年2月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>1月の国内二輪車生産台数は、50,469台（前年同月比 7.0%減）で、12か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、8,762台（同 2.1%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、3,545台（同 18.8%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、4,346台（同 2.7%減）で、6か月ぶりに前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、33,816台（同 10.7%減）で、11か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、23,428台（同 13.0%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。輸出向けは、30,379台（同 15.4%減）で、13か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>1月の自動車国内生産台数は、687,029台（前年同月比 9.9%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。輸出は305,014台（同 8.9%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、トラックが3か月連続、乗用車が2か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>2月の冷蔵庫の国内出荷額は335億円（前年同月比 18.2%増）で、5か月連続で前年実績を上回り、国内出荷台数は310千台（同 7.8%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>2月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは640千台（同 16.2%増）で、5か月連続で前年実績を上回った。業務用は67千台（同 2.3%減）で、13か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>2月の携帯電話の国内出荷台数は、1,118千台（同 32.9%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。うち、スマートフォンは、765千台（同 39.2%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。単月のスマートフォン比率は68.4%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>2月の工作機械の受注総額は、1,055億9,300万円（前年同月比 36.7%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は751億2,300万円（同 66.1%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが438億2,200万円（同 170.7%増）で、8か月連続で前年実績を上回った。内需は304億7,000万円（同 4.8%減）で、27か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業や関連団体からは、「この先仕事量が増加するような話はあるが、今月の仕事量は前月からみると減るような状況にある。」「EVモーター関連の引き合いは増加しているが、性能レベルアップ、大型化への開発対応に苦慮するなど事業転換の難しさに直面している。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>2月の県内楽器メーカーの販売金額は、43億9,960万円（前年同月比7.6%減）で、17か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが22億9,349万円（同 8.0%減）で、国内向けが21億611万円（同 7.1%減）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,174台（同 13.3%増）であった。機種別では、アップライトピアノが2,140台（同 15.5%増）、グランドピアノ1,034台（同 9.1%増）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,179台（同 5.3%減）、国内向けが998台（同 17.7%減）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>2月の紙・板紙の国内出荷高は、1,698千ト（前年同月比 5.9%減）で、19か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は858千ト（同 10.7%減）で、19か月連続で前年実績を下回った。板紙は840千ト（同 0.5%減）と、17か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、474千ト（同 8.4%減）で、19か月連続で前年実績を下回った。ティシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、130千ト（同 15.9%減）と、5か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>2月の県内生産量は、食缶類が国内向け912千箱（前年同月比 8.4%増）と4か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は592千箱（同 8.6%増）と5か月ぶりに前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶は449千箱（同 16.5%増）と、5か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は320千箱（同 7.9%増）と2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが5,164千箱（同 14.0%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>2月の広幅織物の県内生産は、749千㎡（前年同月比 38.4%減）で、21か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、690千㎡（同 39.4%減）で、23か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、58千㎡（同 23.8%減）で、11か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、18千㎡（同 23.3%減）で、35か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>2月の全国百貨店での家具販売額は、35億1,855万円（前年同月比 8.1%減）と4か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、457億5,327万円（同 6.1%増）と2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>2月の県内百貨店・スーパーの販売額は、33,018百万円（既存店前年同月比 3.6%減）と前年同月の実績を下回った。全ての品目（衣料品、身の回り品、飲食料品、家庭用品、その他の商品、食堂・喫茶）で、前年同月と比較して減少しており、特に衣料品及び食堂・喫茶の減少幅が大きかった。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、新型コロナウイルス感染症の影響で、売上げ及び来客数は、前年同月と比較して減少した。衣料品ブランドの廃止によるテナントの撤退、また、例年開催していた身の回り品（アクセサリ類）の催事の中止などが影響した。</p> <p>中部の専門店への聞き取りによると、百貨店同様に、新型コロナウイルス感染症の影響で、売上げ及び来客数は、前年同月と比較して減少した。一方、まとめ買いや「プチ贅沢」の傾向は継続しており、高単価の衣料品や、家での時間を快適に過ごすための家電・生活用品が良く売れたため、客単価は上昇した。</p> <p>西部の食品スーパーへの聞き取りによると、感染症対策として恵方巻きのネット予約を開始したことなどにより、売上げが増加した。また、来店頻度をなるべく減らし、まとめ買いをするスタイルが定着し、来客数の減少及び客単価の増加の傾向が継続している。前年同月比の数値の伸びについては、昨年度同月から内食需要が高まり始めたことから落ち着きつつある。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>令和3年2月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約29万人で、前年同月比 3.4%減となった。</p> <p>前月同様、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、首都圏等に緊急事態宣言が発出されており、国の「GO TOトラベルキャンペーン」及び本県独自の「バイ・シズオカ～今こそ！しずおか!!元気旅!!!～」が停止されていたほか、国内での感染拡大が始まる前の前年同月と比較し屋内施設への入込が減少した一方、屋外施設への入込が増加し、全体として数%の減となったと考えられる。</p> <p>主要有料道路（4路線^{※1}）の合計通行車両数は、約47万台となり、前年同月比 15.4%減となった。</p> <p>※1 遠州大橋（新掛塚橋）が令和元年9月28日から無料化されたことに伴い、令和元年10月から対象が5路線から4路線へと減少</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

= IVデータからみた県内主要産業 =

<二輪車>

	R 2年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 3年1月	2月
完成車生産台数(台)	12,273	13,856	14,410	21,253	20,918	20,803	17,648	21,234	25,160
前年同月比(%)	▲ 30.8	▲ 37.1	▲ 11.2	▲ 13.7	▲ 19.1	▲ 21.3	▲ 27.3	▲ 18.8	▲ 3.2
KD輸出額(百万円)	526	514	506	658	1,307	1,147	1,590	1,399	1,689
前年同月比(%)	▲ 43.5	▲ 66.3	▲ 47.2	▲ 35.5	6.0	▲ 37.2	3.0	9.5	8.3

<楽 器>

	R 2年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 3年1月	2月
生産総額(百万円)	2,128	2,326	1,801	2,341	2,888	2,814	2,848	2,159	2,716
前年同月比(%)	▲ 32.5	▲ 35.7	▲ 32.3	▲ 22.0	▲ 12.0	▲ 15.9	▲ 8.1	▲ 29.5	0.3

<缶詰>

	R 2年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 3年1月	2月
食缶生産高(千ケース)	1,145	1,062	1,029	1,118	1,069	1,001	960	828	912
前年同月比(%)	21.0	▲ 0.8	14.1	19.2	3.2	▲ 9.8	▲ 3.3	▲ 5.1	8.4
うち水産缶詰(%)	28.9	3.8	13.5	19.7	▲ 2.4	▲ 14.7	▲ 9.8	▲ 7.6	8.6
農畜産缶詰(%)	6.3	▲ 9.0	15.3	18.3	14.2	0.1	9.0	▲ 0.8	7.9
飲料缶生産高(千ケース)	7,190	8,475	7,336	6,494	6,253	5,983	6,107	4,662	5,164
前年同月比(%)	▲ 13.1	1.2	11.5	▲ 5.9	▲ 4.9	▲ 16.4	3.3	▲ 4.6	▲ 14.0

<織 維>

	R 2年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 3年1月	2月
広幅織物(千㎡)	732	663	577	640	666	787	729	788	749
前年同月比(%)	▲ 37.0	▲ 39.5	▲ 46.1	▲ 51.0	▲ 51.4	▲ 48.6	▲ 47.2	▲ 39.5	▲ 38.4
小幅織物(千㎡)	15	11	13	15	17	17	20	20	18
前年同月比(%)	▲ 41.3	▲ 55.9	▲ 37.1	▲ 35.1	▲ 37.0	▲ 35.3	▲ 21.8	▲ 18.3	▲ 23.3

<観 光>

	R 2年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 3年1月	2月
延べ宿泊者数 (千人泊)	618	960	1,449	1,143	1,321	1,538	1,375	715	702
前年同月比(%)	▲ 63.2	▲ 53.4	▲ 51.1	▲ 39.6	▲ 22.3	▲ 20.5	▲ 24.9	▲ 55.8	▲ 52.6
観光施設(10施設)入込 (千人)	234	223	389	342	396	476	271	206	290
前年同月比(%)	▲ 28.6	▲ 26.6	▲ 24.2	▲ 7.9	26.2	24.7	2.7	▲ 34.1	▲ 3.4
有料道路(4路線)通行量 (千台)	420	489	687	558	573	615	560	428	470
前年同月比(%)	▲ 36.3	▲ 32.7	▲ 22.0	▲ 21.9	15.6	10.5	▲ 0.8	▲ 16.4	▲ 15.4

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
令和3年4月号 通巻540号

発行 静岡県経済産業部
令和3年4月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>